



ひとが輝く、ふれあいのまち 鳥栖北

まちづくり通信

第117号

令和5年 6月1日発行
鳥栖北地区まちづくり推進協議会
事務局
TEL 85-3631
FAX 55-4806



スポーツ教室、モルック大会を開催

●スポーツ教室（モルック・室内ペタンク）

日時：6月19日（月）～23日（金）19時～21時まで
場所：鳥栖北小学校 体育館
対象：北地区にお住まいの方（事前申し込みはいりません）
持ってくるもの：室内用シューズ（上靴）

●モルック大会

日時：6月25日（日）8時半集合
町区対抗となりますので、ご家族、ご友人お誘いあわせの上、各町区にお申込み下さい。



スポ協理事会を開催しました

4月20日に行われたスポーツ部長・役員会で協議されたことを踏まえて、5月18日に鳥栖北地区スポーツ協会理事会を開催し、今年度の各種大会やスポーツ大会などについて話し合われました。今年度は3年に1度の地区スポーツ大会の年となります。10月8日に開催する予定となっておりますので、鳥栖北地区にお住まいの皆さまの多数のご参加をお待ちしています。



鳥栖中、体育大会を開催しました

5月20日（土）、鳥栖中学校の体育大会が開催されました。短い練習期間にも関わらず、各団とも強い結束力で様々な競技をこなしました。接戦の末、優勝したのは紫団でした。選手の皆さん、応援に駆け付けたたくさんの方々ともにお疲れ様でした。



交通安全指導員、原口さんが表彰されました

中央区の原口雅信さんが、鳥栖市交通対策協議会の向門会長（市長）より表彰されました。原口さんは、全国交通安全指導員研修会にも積極的に参加されるなど交通安全指導員として献身的に尽力され、人格も見識も優れているということで推薦されました。いつも子ども達の安全を見守ってください、ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

小学校・幼稚園・保育園で交通安全教室が行われました

北小では4月19日、1・3・5年生を対象に交通安全教室が行われました。1年生は運動場で横断歩道の渡り方など、3・5年生は体育館で自転車の安全な乗り方の指導を受けました。また、5月には幼稚園や保育園でも交通安全指導員の皆さまによる交通安全教室が開催され、園児たちが小さな手を一生懸命挙げて道路を渡る練習をしました。お出かけの際は、大人も子どもも十分に安全に留意し、交通ルールを守って大切な命を守りましょう。



こまどり幼稚園での様子





鳥栖 よかところ 探訪

鳥栖地区まちづくり推進協議会が作成した「鳥栖良かところカルタ（通称64カルタ）」に札として登場する鳥栖市の名所や名物を紹介するコーナーです！



鳥栖良かところカルタ
(通称64カルタ)

鳥栖良かところカルタは、今を知り、昔を学ぶ地域学習の身近な教材として、家族や地域での世代間ふれあい活動の一助として作られたものです。

今回は「宿の鉦浮立」と「姫古曾神社」

しゆく かね ふりゆう 宿の鉦浮立

むかしは、春になると山から「田の神」が里へ下りてくる、と考えられていました。これを迎え、その年の豊作を願って行われるのが春祭りです。鳥栖では、

かつてこの地域の惣社であった四阿屋神社で神幸祭が行われていましたが、今では周辺の4区が担っていた社役のみが残っています。牛原町、



神辺町（3年ごと）、曾根崎町の3町区の獅子舞と、宿町の鉦浮立です。この「宿の鉦浮立」が4年振りに4月29日（土）に行われました。当日は生憎の雨で、文化会館から市役所、市役所から船底神社まで歩きながらの「道ばやし」はありませんでしたが、船底神社での浮立奉納は開催され、多くの方が見守る中で鉦と太鼓の音が鳴り響きました。豊作の為には雨は欠かせないもの。田の神様も見て下さっていたのでしょうか。約10kgもある重たい鉦を何度も振り上げて舞う姿は、見る者の心も打ちました。そして、唯一太鼓を打ちながら舞うのは男児で、郷土無形民俗芸能として、次世代へと受け継がれていく様子が窺え、とても感動しました。



ひめこそ

姫古曾神社（姫方町）

織姫と彦星の祭りである七夕。鳥栖では8月7日に行われています。朝、里芋や稲の葉にたまった朝露を集めて短冊を書き、字の上達を願います。条幅に「天の川」と書き、床の間に飾ることもあります。新一年生の子どもには、七夕祝いとして西瓜や学用品を贈り、お返しに七夕饅頭が配られます。これは鳥栖周辺や筑後地方の独特の風習です。姫方の地名由来にもなっている姫古曾神社では、機織りの姫神を祀っており、七夕まつりがおこなわれます。



鳥栖市役所、新庁舎へ



落成式で挨拶される向門市長

5月7日10時より、鳥栖市役所新庁舎で落成式が行われました。その後14時より、どなたでも参加できる見学会が開催されました。新庁舎は市民利用の多い1階に窓口部門を集約し、キッズコーナーと授乳室、そして市民が憩い、交流できる場として多目的ホールを配置し、誰もが利用しやすい庁舎となっています。また、日差しをカットし、自然採光、自然通風などの自然エネルギーを利用しやすい造りとなっており、環境にも配慮。電球も省電力で長寿命なLED器具を取り入れ、経済的です。さらに災害時であっても行政機能を継続できるように、72時間以上稼働できる非常用発電機や免震構造を取り入れています。



なお、しばらくは旧庁舎の解体工事などでご迷惑をお掛け致しますが、ご理解とご協力をお願いします。